

令和元年9月9日、台風15号による被害工事について

横浜霊園では、先般の台風15号により霊園内の崖で地滑りや倒木による被害が多数発生しており、墓域によっては接近が危険な状況となっております。ご使用墓地に直接被害に遭われましたご使用者様には、既にご連絡をさせて頂いております。

霊園では、被害が甚大な第20区より崩れた土砂及び倒木の撤去工事を開めました。

工事の開始に先立ち、9月28日に僧侶でもあります清算人長谷川正浩、日蓮宗光遠寺伊藤友道師、曹洞宗石三浦師、同大井師、日蓮宗本立寺住職山本師による被害に遭われた仏様の供養、及び工事の安全を祈願した法要を執り行わせて頂きました。

工期につきましては、天候にもよりますが、第20区につきましては約1ヶ月程を要する見込みです。

第10区につきましても、土砂及び倒木の撤去工事を開めました。

被害箇所が広範囲に亘ることから、被害区画全ての土砂及び倒木の撤去工事が終了するのは来年2月末頃を予定しております。

今後の工事等につきましては、随時ホームページ上にてお知らせいたします。

尚、工事期間中に於きましては、工事車両、器材の搬入等によりご来園のお客様には、ご不便をお掛けするかと存じますが、何卒ご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



財団法人 日本墓園
清算人 長谷川 正浩
清算人 仲澤 幹彦